

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：近畿地方整備局都市整備課  
 担当課長名：新階 寛恭

事業名		事業区分	事業主体
きょうとうじせん（だい1こうく） 京都宇治線（第1工区）		街路	京都府
起終点	起点：京都府宇治市菟道	終点：京都府宇治市菟道	延長 0.6 km
事業概要：本路線は、宇治市中心市街地と京都市伏見区を南北に結ぶ重要な幹線道路であるとともに、宇治橋から京滋バイパスまでの区間は宇治市の重要な観光・アクセス道路であることから、本区間において車道の4車線化、両側に自転車歩行車道を設置することにより、交通渋滞の緩和、京滋バイパスへのアクセス強化及び歩行者・自転車の安全確保等を図るとともに良好な都市空間の形成に資するものである。			
S63年度事業化	S32年度都市計画決定 (S60年度変更)	S63年度用地着手	H11年度工事着手
全体事業費	37億円	事業進捗率	78%
計画交通量	28,800台/日	供用済延長	0 km
費用便益分析結果	B/C (事業全体) 1.9  (残事業)	総費用 (残事業)/(事業全体) /42億円  (事業費) /41.7億円 (維持管理費) /0.7億円	総便益 (残事業)/(事業全体) /80億円  (走行時間短縮便益) /77.3億円 (走行費用減少便益) /1.7億円 (交通事故減少便益) /0.5億円
基準年 平成15年			
事業の効果等 ・京滋バイパスへのアクセス強化 ・自転車歩行者の安全確保 ・渋滞解消 ・沿道の良好な都市空間の形成に資する			
関係する地方公共団体等の意見 京都宇治線は、地元の宇治市から整備促進の要望がある。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 人口及び自動車交通量も増加している。(宇治市の人口推移 S60国勢調査 164,411人 H12国勢調査 189,830人、交通量の推移 S60 9,606台/12h H11 12,614台/12h)			
事業の進捗状況、残事業の内容等 京滋バイパスまでについて、平成16年夏頃の供用を目指す。残工区については市道との交差点及び現道とのすりつけ区間となっており、交通の円滑化を図るため、早期供用を図る必要がある。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 地権者に代替地要求があり、その代替地の選定に時間を要した。			
施設の構造や工法の変更等 建設発生土の他事業への流用やコンクリート2次製品の積極的な使用によりコスト縮減を図る。			
対応方針 事業継続			
対応方針決定の理由 本路線は、宇治市域と京都市域を結ぶ重要な路線であり、宇治市中心部と京滋バイパスへのアクセス道路として、渋滞解消及び自転車・歩行者の安全確保が図れることから事業効果も高いと考えられるため、総合的に評価すれば事業を進める。			
事業概要図			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。